

# ことしの主な事業

**佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金など  
佐呂間高校の存続対策に関する各種新規事業を実施**

**一般会計は前年度比マイナス 1.2% 6081万円の減額**

**佐呂間高校の存続対策**

近年の少子高齢化により、入学者が減少している佐呂間高校の存続対策として、各種助成事業を新規に実施します。

**合計9300万円**

◎事業内容

- 大学 年額50万円×7名分 350万円
- 短大・専門学校 年額25万円×8名分 200万円
- 佐呂間高等学校卒業生就職等応援給付金支給事業 佐呂間高校を卒業し就職する者及び就職準備のため佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金の対象とならない学校へ
- 佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金
- 佐呂間高等学校卒業生修学応援補助金



新規事業により入学者の増加が期待される佐呂間高校

進学する者に対し、就職等の準備を応援するため給付金を支給します。

◎事業内容

- 1人10万円×11名分 110万円
- 佐呂間高等学校入学者給付金支給事業 佐呂間高校へ入学した生徒に対し、高校生活における様々な活動に必要な資金として給付金を支給します。

**その他の主な事業**

- 地域おこし協力隊設置事業 地域おこし協力隊員の募集 285万円
- 市街街路灯取替工事 佐呂間市街地の街路灯の一部をLEDに変更 4180万円
- ふれあいバス購入事業 老朽化した知来・仁倉線の中型バスをマイクロバスに更新 1194万円
- 高齢者ハイヤー乗車料金助成事業 85歳以上の高齢者及び自動車運転免許証返納者の、町内でのハイヤー乗車料金の一部を助成 559万円
- デイサービスセンター特 殊浴槽購入事業 車いす対応の浴槽購入に対する助成 700万円
- 若佐歯科診療所治療機器購入事業 口腔内3D画像撮影装置等の購入 1590万円
- 合葬墓新設工事 佐呂間墓地に合葬墓を新設 1413万円
- サロマ湖展望台改修工事 施設設計業務委託 令和3年度から行われる老朽化したサロマ湖展望台改修工事の実施設計 295万円
- 床丹川緊急浚渫推進事業 若里地区を流れる床丹川の堆積土砂の撤去 240万円
- トップウシベツ川防災対策事業 富士土地区を流れるトップウシベツ川の改修工事のための調査設計 620万円
- 町民センター配管改修工事 老朽化した給水・配水管の改修 1570万円
- 学校給食費の無償化 町内の小・中学校に通学する、児童生徒の給食費を無償化 1524万円

# 特集 まちの予算をみる

## 令和3年度 当初予算

令和3年第1回定例会において、次の当初予算が提案されました。

- 令和3年度一般会計予算
- 令和3年度簡易水道特別会計予算
- 令和3年度国民健康保険特別会計予算
- 令和3年度公共下水道特別会計予算
- 令和3年度介護保険特別会計予算
- 令和3年度介護サービス事業特別会計予算
- 令和3年度後期高齢者医療特別会計予算

提案された各会計予算について、議長を除く9名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、付託して審議を行うことを決め、8日に開催された特別委員会では委員長に土田委員、副委員長に但木委員を選任し、9日に集中審議を行った結果、原案可決しました。

その後、11日の本会議において、土田委員長より審査結果報告がなされ、採決の結果、原案のとおり可決しました。

予算特別委員会 3月30日・31日

## 令和3年度 各会計当初予算

会計区分	3年度当初予算	2年度当初予算	対前年度増減額	増減率	
一般会計	51億5480万円	52億1561万円	▲6081万円	▲1.2%	
特別会計	簡易水道	3億5321万円	3億5321万円	3249万円	9.2%
	国民健康保険	8億3235万円	8億9052万円	▲5817万円	▲6.5%
	公共下水道	2億9345万円	2億4291万円	5054万円	20.8%
	介護保険	5億2679万円	5億2412万円	267万円	0.5%
	介護サービス事業	2億6705万円	2億5896万円	809万円	3.1%
	後期高齢者医療	9777万円	9136万円	641万円	7.0%
合計	75億5791万円	75億7669万円	▲1878万円	▲0.2%	

**予算特別委員会委員長報告 (要旨)**

令和3年度は第5期町総合計画の初年度であり、これらの計画などと整合性を図った予算編成であるか、コロナ禍の影響もあり財政状況が厳しい中、最小の経費で最大の効果が図られる施策・事業となっているかなどに重点をおき、審査を行いました。

歳入については予算の46%を占める地方交付税は増額を見込んでいますが、収支のバランスは各種基金の繰り入れにより図られているのが実情です。

歳出については新たな行政課題も考慮し、事業の必要性・妥当性に十分な配慮がなされています。

地方が自らの判断と責任において課題に取り組むことは当然であり、緊急性・将来性・効率性などの精査を行い、安定的な財政運営を願うものであります。

# 第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

# 第1回定例会

・特集 まちの予算をみる

令和3年度予算の  
使い道を徹底審議！

## 予算特別委員会質疑の中から

### 総務費

#### 役場職員の研修

**佐藤** 職員研修の予算について、パワーハラスメントに関する研修は行われていますか。

**副町長** 現在役場においてパワーハラスメントはないと認識していますが、今後状況を見ながら対応しなければならぬと考えています。

**三田** 同じく職員研修の予算について、現在職員研修は年に何回実施され、何名が参加していますか。

**総務課長** 課長職研修が年2回実施され各1名が参加、その他北海道市町村研修センターが実施する各種研修に10名、管内町村会が実施する各種研修に20名、市町村振興協

会が実施する道外研修に1名の参加を予定し、予算を計上しています。

#### マイナンバー カードの状況

**三田** 社会保障・税番号制度安全管理措置対応支援業務委託料について、本町のマイナンバーカードの発行状況は人口の何パーセント程度でしょうか。

**町民課長** 令和3年2月末時点で、申請件数は約18%、実際に交付されているのは約15%となっております。

#### 女満別空港に 関する負担金

**但木** 女満別空港整備・利用促進協議会負担金について、予算額が昨年から3倍に増えています。これは新型コロナウイルス感染症の影響でしょうか。

**企画財政課長** 女満別空港へのLCC（格安航空会社）就航に対する支援のため、LCCが運航するために必要な経費について、今のところ3年間の予定で、協議会として支援していきます。

#### 地域プロジェクト マネージャー

**佐藤** 令和3年度予算に地域おこし協力隊の募集に関する予算が初めて計上されましたが、総務省では令和3年度から新たに、地域プロジェクトマネージャー制度を創設しました。こちらについても採用を考えてはどうでしょうか。

**「地域プロジェクトマネージャー制度」とは**  
地方公共団体が重要なプロジェクトを実施する際に、関係者間の橋渡しを行いプロジェクトをマネジメントする人材を任用する制度。  
地域の実情に理解があり、専門的な知識を有するものとされ、地域おこし協力隊のOB・OGなどがその対象と想定されており、地域プロジェクトマネージャーは都市部から地方へ移住することが求められます。  
なお、その雇用に関する地方公共団体の経費については、国から特別交付税が措置されます。

### 民生費

#### 保育士の充足状況

**高橋** 常設保育所の予算に関連して伺います。現在の入所児童数に対する保育士の充足率は、基準を満たしていますか。また、今後の待機児童の発生の見通しについてどのようになっていますか。

**保育所長** 入所児童数に対し必要な保育士の人数は国で基準が定められており、本町は現在国の基準は満たしていますが、実際のところ子供の安全確保のためには、国の基準どおりの人数では保育士の数が足りないことから、代替保育士を雇用して対応しています。待機児童については、将来的にも発生しない見通しとなっております。

### 農林水産業費

#### 特産品の開発研究

**小松** 地場産品開発研究センターに関する予算に関連して伺います。個人的に聞いた話ですが、東京農大

では町からの要請があれば、佐呂間に適した生産物や加工品の研究について協力すると聞いております。このような大学との連携についてどのように考えられますか。

**町長** 今後は食品の開発に関わらず、大学など専門的な研究機関との連携を深めていきたいと考えています。

#### 公共牧野の維持

**但木** 公共牧野の予算に関連して伺います。現在公共牧野は町内の酪農家の戸数に対し、どのくらいの割合で利用されていますか。また、今後も牧野は現状を維持しているのでしょうか。

**農務課長** 公共牧野の酪農家戸数に対する利用率は不明ですが、入牧頭数は年によって増減があり、下降傾向にはありますが、極端に減少しているわけではありません。今後の牧野の維持については、何十年も行われていない草地更新と、牧野監視員の高齢化による人材の確保が課題となっております。

#### サロマ湖の環境対策

**佐藤** 水産業振興費について、サロマ湖の環境対策に関する目新しい事業はないようですが、今後どのような取り組みを考えていますか。

**経済課長** 水質汚染防止対策として、モニタリング調査や水質監視を北海道と協力して通年で実施するなど、関係団体と連携して対応しており、ここ10年で際立った水質悪化は見られていません。

### 商工費

#### 今後の観光案内

**但木** 観光案内看板撤去工事について、町内に複数ある老朽化した観光案内の看板を撤去し、その後の情報提供については今後検討すると聞いていますが、具体的な対策はどのように考えていますか。

### 消防費

#### 消防団の状況

**加賀屋** 消防費に関連して、町内の消防団員の人数及び報酬について伺います。また火災等で消防団員が出勤する際、最低何人集まれば出勤できるのでしょうか。

**総務課長** 現在、消防団員は本部付4名、第一分団（佐呂間）46名、第二分団（浜佐呂間）24名、第三分団（若佐）32名、女性部14名の合計120名が所属しており、役職に応じた報酬が年額で支給されるほか、災害や演習などへ出勤するたびに、内容に応じた金額の報酬が支払われています。

# 第1回定例会

# 第1回定例会

3名の議員が一般質問を行いました。  
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

・一般質問①

・特集 まちの予算をみる

## 一般質問

**【答弁】(町長)**  
町内での様々な業種における人材不足、後継者不足への課題は十分に理解し、今後は移住、定住対策を進めていかなければと考えています。  
ーターン、Uターン者は大変な人材であり、そのためには町への愛郷心を醸成し、若者にふるさとへの帰郷を考え

**【質問】**  
佐呂間高校生への色々な支援制度が創設されましたが、一方で町内の様々な業種において後継者不足が問題となっています。人口減少対策や町の活性化を図るためにも、町にUターンしてくる方々への支援策としてどのような考えをお持ちなのか伺います。



高橋 紀久 議員

### 移住・定住(Uターンなど)への支援策

**【質問】**  
現在のコロナ禍の中、都会の喧騒から離れ、地方に移住する方を積極的にこの町にも迎え入れるべきだと感じ、移住、定住者を掘り起こす具体的

てもらう精神的な要素も重要と考えています。  
現在は商工業活性化補助金制度、農業後継者育成支援対策事業制度などがあり、今後は、大型自動車運転免許等取得補助制度の第一次産業従事者などへの拡大を検討しているかなければと考えています。  
町に戻ってきた方をどのようにに捉えるかで、単純に転入してきた方からといって支援するということ基準を決めるのも難しいと考えています。

**人口減少、後継者不足、住宅不足  
問題解決となる移住の支援策は**  
町長：現在の補助制度を継続し  
移住・定住対策を積極的に進める

**【答弁】(町長)**  
策として考えはあるか、また、実際に来られた場合、町としてどのような支援を考えているか伺います。

**【答弁】(町長)**  
前定例会でも述べましたが、地域おこし協力隊の導入は、まちづくりにおいて重要な要素の一つであり、移住定住についても有効的な方策であると考え、導入に向けての体験プログラム、募集を行い、その後の起業、定住に向けて取り組みます。  
サポーターズ倶楽部に関しては、会員参加型の企画をし、関係人口として今以上の強い関係をつくり、最終的に定住につなげていきたいと思います。

**【答弁】(町長)**  
現状、町営住宅は多くの空室が生じており、町内の民間アパートや賃貸住宅も常に満室になっているわけではなく、入居希望に応じられる状態であると認識しています。  
民間アパートなどの建設に対する助成事業の制度化について協議が上がった経過もありますが、必要との判断には至っておりません。  
企業、団体の社宅整備については、これまでも各企業の自己努力で行っていたためであり、今のところ町として助成を行う考えはありません。  
今後は町内の賃貸住宅の状況も見極めながら、住宅不足解消の対策について協議していきます。

### 教育費

学校図書への充足率

**【船木】** 各学校への図書購入費交付金について、北海道では学校図書の充足率が全国的に見て低い状況ですが、本町の充足率はどの程度でしょうか。

**町長** 市街地で消防団員が不足し、支障が生じていることは把握しています。消防業務を行っている遠軽地区広域組合の中で、本町の課題として協議を進めていきたいと考えています。

**【加賀屋】** 最近市街地で消防時に必要人数がすぐに集まらず、消防車両が出動できないということがありました。何か対策は考えていませんか。

### 歳入

町税の収納率

**【船木】** 町税の予算を算定する際に、これまで収納率を96%で計算していたものを、令和3年度予算では98%で算定したと聞いています。

**町長** 町税の収納率を算定する際に、これまで96%で計算していたものを、令和3年度予算では98%で算定したと聞いています。管内の他の町村においても実際に扱っている図書館はないようです。

**【高橋】** 図書館の図書購入費の取扱はどの程度あるのでしょうか。

電子書籍の導入

**【教育長】** 本町の学校図書の充足率について資料はなく、今後調べていきたいと思っておりますが、現状では相当数確保できていると聞いています。

### 国民健康保険

特定健康診査等事業費に

**【但木】** 特定健康診査等事業費に、健康診査を受診しない人に対してどのような対応を考えているのでしょうか。

**町長** 今後はクリニックの指定管理者である恵尚会と新たな健診体制など協議を行い、町民の健康寿命の延伸対策を考えていきます。

### 介護サービス

特養介護職員増員

**【但木】** 特別養護老人ホームの予算に関連して伺います。特別養護老人ホームは介護職員の不足により、入所ベッド数が60床から50床に減少した状況が続いています。今後介護職員が増える見込みはないのでしょうか。

愛の園園長

これまで各教育機関を回り介護職員の募集に奔走してきましたが、福祉の専門学校への入学者も減少するなど、介護職員のなり手がいないのが現状であり、現在の入所ベッド数50床を維持するのが精一杯ではないかと考えています。

**【副町長】** 本町の特別養護老人ホームの介護職員は昨年まで嘱託職員としての採用でしたが、令和2年度から正職員化しており、今後の募集において以前より有利になるのではないかと考えています。